



みんなが主役 地域の笑顔広がる

まちづくり協議会

住んでいる地域を自分たちの力で、より住みやすいまちにしようと市内15地区で活動しているまちづくり協議会（まち協）。今回は、まち協の役割や活動内容を紹介します。

◎問い合わせ コミュニティ文化課 ☎23-7146

行政とともに協働のまちづくり

近年、「お互いに助け合い、協力する」という地域住民同士のつながりが希薄になり、地域を取り巻く環境が変化しています。

そこで、市では、個人では対応しきれない課題を解決したり、世代間交流を図ったりする地域コミュニティの充実や強化のため、協働のまちづくりを推進しています。その柱として、地域住民が中心となって、身近な課題を解決したり将来あるべき姿を検討したりする、「まちづくり協議会」の運営を支援しています。

まち協の目指すもの

まち協では次の目標を掲げ、自分たちで何ができるのかを考え、積極的に活動しています。

- 地域の活性化
- 教育文化活動の推進
- 健康増進・地域福祉の推進
- 防災・防犯など安全・安心なまちづくり

○地域環境整備の推進

これらの目標を達成するために地域住民の力と知恵を結集し、それぞれの地域の特色を生かした活動を進め、より住みよいまちづくりを目指します。

住みよいまちを目指して

志和池まち協では「ほら見てよ あったか志和池が ここにある」を地域づくりのスローガンに掲げ、5つの部会を設けて住みよいまちづくりの実現のために取り組んでいます。



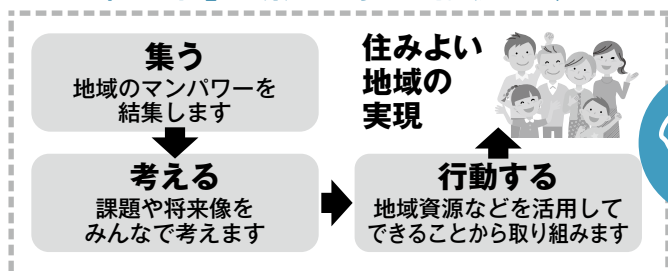
志和池地区まちづくり協議会 事務局長 竹原 一郎さん

具体的には、「子ども見守り中」のステッカーを作成し、車に貼るなど見守りを強化。また、子どもたちの健全な育成のため、市からの地域振興基金を活用し、絵本の読み聞かせなどにも取り組みました。さらに、地域を盛り上げるため、今年の夏祭りでは、おそろいの浴衣と法被を製作する予定です。今後も、市と地域住民とで協力しながら、これまでの取り組みをさらに発展させ、特色を生かした地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

地域と行政が対等な立場で、「協働のまちづくり」を推進

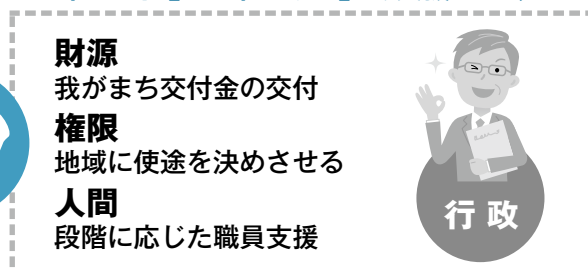
地域の皆さん

「まち協」に集い、考え、行動します



行政

「まち協」を「3げん」で支援します



各地区の特色ある取り組み

コミュニティバス

庄内ふれあい号

(庄内地区まちづくり協議会)

平成28年に、県内初となる市民協働型コミュニティバス「庄内ふれあい号」を導入。路線設定や運行管理、運転手の確保など運営の全てをまち協が担っています。

10人乗りの車2台を、週4回運行。地区内を細かく回り、1年間で延べ3千人が利用しました。

利用する皆さんから、買い物や通院、温泉施設への交通手段として大いに喜ばれています。



高城収穫祭

(高城地区まちづくり協議会)

まち協が企画し、平成28年からスタートした高城収穫祭。採れたての野菜や米の他、ちまきや唐揚げ、がね、花の苗などを各自治公民館ごとに持ち寄り、販売しています。

地元の新鮮な野菜など購入できるほか、住民同士のふれあいの場としてもにぎわいを見せています。



見守り活動

(姫城地区まちづくり協議会)

登校時の子どもの安全を見守る地域での「見守り活動」。地域の人に見守り活動を行っていることがひと目で分かるように、ユニホームや帽子、手旗をそろえました。元気にあいさつを交わしながら

豊かな人間関係を育み、安全・安心な地域づくりを行っています。



中郷村・旧都市

合併50周年記念式典

(中郷地区まちづくり協議会)

中郷村と旧都市の合併50周年記念式典をまち協主催で開催しました。地元住民ら約180人が出席。中郷地区の歴史を振り返る講演や、地元保存会による安久節の披露などが行われ、出席者らは、地域の歴史や文化の素晴らしさを再認識しました。



西岳防災の日

(西岳地区まちづくり協議会)

平成23年に発生した新燃岳噴火災害を教訓に、毎年1月26日を「西岳防災の日」として定め、外部講師を招いた防災講演会や訓練などを実施しています。

訓練には、子どもから高齢者まで参加し、住民みんなが防災意識を高めています。



世代を超えて交流

“住みよいまち沖水”協議会では「たすけ愛 ささえ愛 ふれ愛のまち沖水」をスローガンに、住民が積極的に参加し、安全・安心なまちづくりを推進しています。



“住みよいまち沖水”協議会
会長 三島 美蔓さん

毎年開催する沖水大運動会は、昭和21年から続く地区の伝統行事で、平成26年からまち協が主催しています。約2千人が参加し、住民同士の交流の輪が広がっています。このほか、成人式や文化祭などは中学生がボランティアで手伝ってくれるなど、世代を超えた交流を深めています。

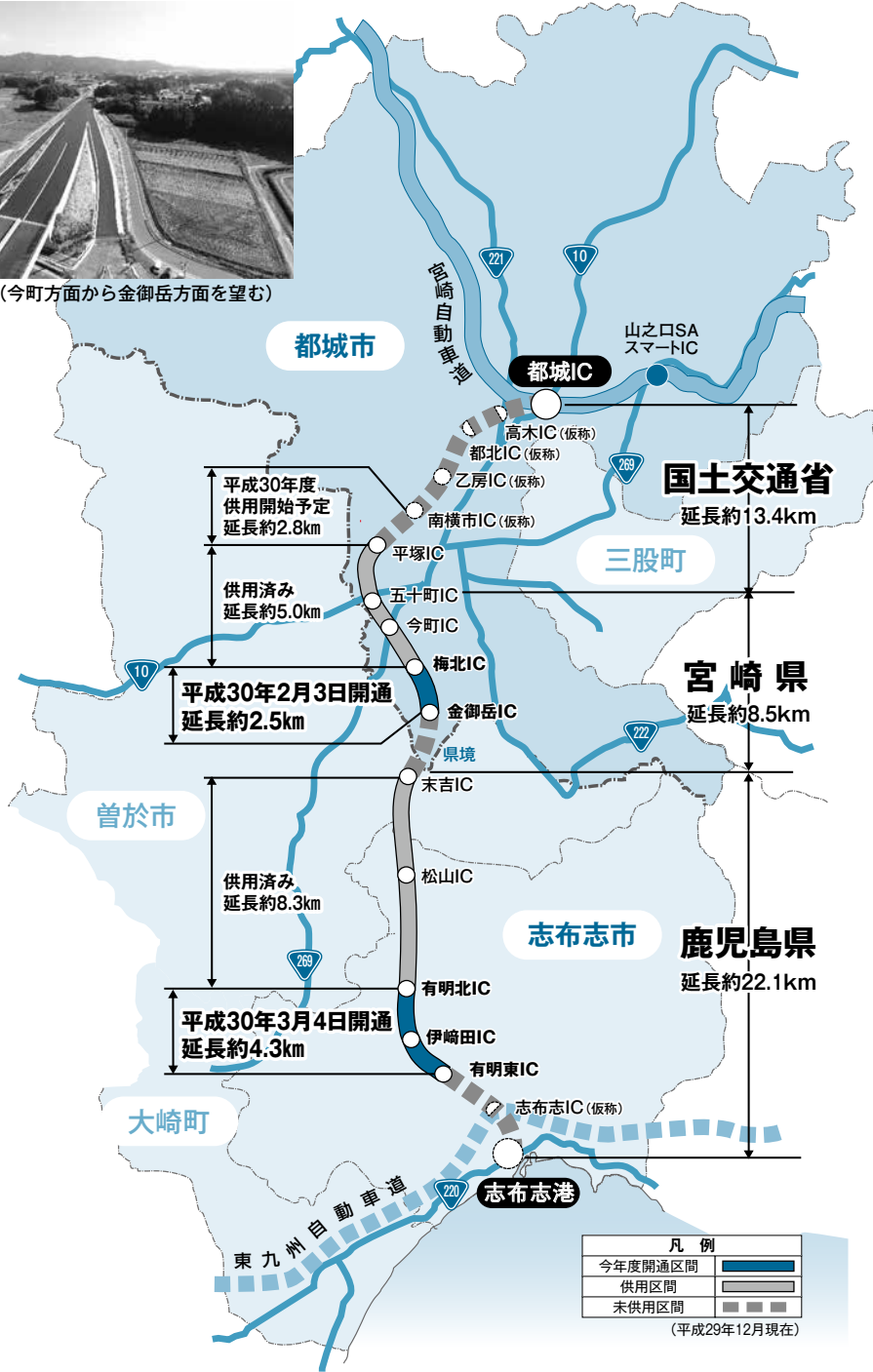


都城志布志道路

梅北IC～金御岳IC 2月3日(土)供用開始!



梅北IC (今町方面から金御岳方面を望む)



都城志布志道路は、都城ICから志布志港までをつなぐ延長約44kmの自動車専用道路で、全線開通に向けて整備が進められています。今回は、整備の効果と進捗状況を紹介いたします。

◎問い合わせ
都市計画課 ☎23-2762

全線開通で期待される効果

都城志布志道路は、平成6年に計画路線に指定され、国土交通省や宮崎県、鹿児島県により順次整備が進められています。

この道路は、南海トラフ巨大地震などの災害が発生した場合に、沿岸自治体の後方支援機能を充実させる道として重要です。このほか、輸送コスト縮減などによる地域経済の活性化、地域医療の充実などにも大きな力を発揮することが見込まれ、全線開通による「防災・経済・医療の道」としての役割や効果が期待されています。

来年度中に5割が開通予定

今年度は、宮崎・鹿児島両県で新たに3区間が開通。宮崎県が施工する梅北IC～金御岳IC間が2月3日(土)に、鹿児島県が施工する有明北IC～伊崎田IC～有明東IC間が3月4日(日)にそれぞれ供用開始となります。

また、国土交通省が整備を進めている南横市IC(仮称)～平塚IC間が、平成30年度中の供用開始を予定していて、この区間まで開通すると、全線の約5割が通行できるようになります。

早水公園体育文化センター

サブアリーナと武道場が 今秋オープン



武道場

サブアリーナ

屋内スポーツの拠点施設として、市内外の多くの人が利用している早水公園。平成24年度から改修整備を進め、平成28年度には新弓道場が完成しました。現在、サブアリーナや武道場、多目的室などの整備を進めていて、平成30年秋に利用開始を予定しています。

今回は、施設の概要や、完成後の利用について紹介します。

◎問い合わせ スポーツ振興課 ☎23-9546

全国規模の大会を開催

老朽化が進んでいる都城運動公園体育館や武道館などに替わる施設として、平成29年1月から、早水公園内にサブアリーナや武道場などの整備を進めています。完成後は、現在の早水公園体育文化センターと合わせて、市内の競技大会だけでなく、九州や全国規模の大会、各種イベントなどに利用されます。なお、平成31年には、全国高校総体の男女バレーボールと弓道が開催される予定です。

施設の概要

●サブアリーナ

バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン10面を行える広さがあり、さまざまな球技に利用できます

●武道場

柔道6面、剣道4面、空手4面などが行えます

●多目的室

レスリングやダンスなどのほか、会議やイベント時の待機場所としても利用できます

●その他

トレーニング室やドーピング検査スペースも整備しています

防災活動拠点としての機能

早水公園は、都城市地域防災計画で防災活動拠点に指定されていて、災害時にさまざまな機能を発揮できる施設としても整備を進めています。

●現アリーナ

避難所、現地災害対策室

●サブアリーナ・武道場

災害支援助物資の集積・分配拠点

●弓道場

救急医療拠点

●公園

ヘリポート、救急車両待機場所など



サブアリーナの完成イメージ

特集 スポーツキャンプ!



今年も市内各所で、サッカーJリーグチームやソフトボール、野球などのキャンプ・合宿が行われます。選手たちの迫力あるプレーを、間近で見てください。

◎問い合わせ みやこんじょPR課 ☎23-2615

サッカー

栃木SC

都城キャンプは、2012年から今年で7回目。昨季はJ3で2位となり、見事J2昇格を果たしました。今季は、元日本代表FWの大黒将士選手も加入。J1昇格を目指し、都城キャンプでシーズンをスタートします。

●期間

2月2日(金)～12日(月)

●場所

高城運動公園多目的広場

●練習試合

2月7日(水)・10日(土)・11日(日)は、練習試合を予定。詳しくは、栃木SC公式ホームページを確認ください



サポーターグッズで選手を応援しよう!

Jリーグキャンプ期間中は、タオルマフラーやフラッグなどのグッズを会場で販売しています。この機会に購入して、チームを盛り上げてみませんか。



ソフトボール(女子)

シオノギ製薬 ポポンギヤルズ

日本リーグでの優勝経験もある、名門チーム。都城キャンプは、2006年から今年で13回目を迎えます。

●期間

2月8日(木)～17日(土)

●場所

高城運動公園野球場

日本精工 ブレイブベアリーズ

滋賀県湖南市を拠点とするチーム。平均年齢22歳の若い選手たちが、一部リーグ復帰を目指しキャンプを行います。

●期間

2月13日(火)～22日(木)

●場所

高城運動公園野球場ほか

野球

東京六大学理工学部硬式野球部

●期間

3月1日(木)～5日(月)

●場所

都城運動公園野球場ほか



あなたの勇気が、地域を守る！

消防団員募集！

大規模な火災や地震、風水害、火山噴火などの災害時には、多くの人の力が必要です。このような中、地域防災力の根幹を担う消防団の力が、ますます重要になってきています。

◎問い合わせ 危機管理課 ☎23-2129



地域の防災は皆さんの力が必要です！

現在、都城市消防団では、約1、450人の団員が活動。団員は、自分の仕事を持ちながら、防災の担い手として地域に密着して活動し、住民の安全を守る役割を果たしています。

消防団には、女性や学生の団員もいて、火災予防や応急手当の普及啓発などで活躍しています。

市消防団には、市内に居住または勤務する18歳以上の人であれば、誰でも入団できます。ぜひ、入団して、地域の人たちと共に、地域の安全を守る活動に参加してみませんか。

また、市消防団にはラップ隊が

組織されていて、式典やイベントでの演奏など、広報活動を行っています。金管楽器などの演奏に興味のある人は、ラップ隊として活動してみませんか。

学生の就職活動を支援する「学生消防団活動認証制度」

消防団員として地域貢献をした学生に対して、市がその活動を認証し、就職活動を支援しています。

この制度は、学生に対する就職活動支援のほか、若者に地域活動への参加を促し、地域防災の担い手である消防団員を育成することを目的としていて、本市では本年度から導入しました。

インタビュー



五十市・西分団
第2部部长

湯浅 大介さん
(五十町)

地域のために行動することが地域を守るにつながります

小さい頃から消防団が身近な存在で、消防団員だった祖父の勧めもあり、入団しました。

規律訓練や操法大会など、みんなで1つの目標に向かって努力してやり遂げることに充実感を感じます。消火活動以外にも、地区の運動会で防災啓発活動を行うなど、地域に密着した活動が多く、さまざまな人と知り合えるのも消防団の魅力です。

地域のために活動したいと思う人は、ぜひ、消防団に入団ください。